

奄美大島でのブユ幼虫の季節消長

大塚 靖

Seasonal Occurrence of Larvae of Blackfly in Amami-Oshima Island

OTSUKA Yasushi

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

International Center for Island Studies, Kagoshima University

要旨

奄美大島の名音川で2016年の各月にブユ終齢幼虫採集を行い、スズキアシマダラブユ 1,107 個体、アシマダラブユ 129 個体、オキナワナンヨウブユ 3 個体を採集した。スズキアシマダラブユは2月に、アシマダラブユは5月に、それぞれ最も多く採集された。アシマダラブユの終齢幼虫発生のピークは、奄美大島でブユ吸血被害の多いとされている5月と一致していた。

はじめに

奄美大島ではブユの吸血被害が知られている。さらに、九州および本州ではブユは吸血するだけでなく、人獣共通フィラリア症を媒介することが知られているが、奄美大島での実態は調べられていない(UNI *et al.* 2017)。そこで、奄美大島においてブユ成虫を採集し、奄美大島の人獣共通フィラリア症を調査しているところである。さらに、ブユの生息状況をより把握するために、ブユ成虫採集を行っている周辺でブユ幼虫の採集を行ったので報告する。

方法

2016年の1~12月の月に一度、大和村の名音川(北緯28°18'44"、東経129°19'55"、標高240m、図1)の約200mにわたってブユ幼虫を採集した。採集した幼虫は80%アルコールに入れ研究室に持ち帰り、顕微鏡下で種の同定を行い、終齢幼虫の個体数を調べた。

結果と考察

採集したブユ終齢幼虫は、スズキアシマダラブユ (*Simulium suzukii*) 1,107 個体、アシマダラブユ (*S. japonicum*) 129 個体、オキナワナンヨウブユ (*S. okinawense*) 3 個体であった(図2、表1)。スズキアシマダラブユは2月に最も多く採集され(333 個体)、アシマダラブユは5月に最も多く採集された(47 個体)。両種とも8~10月にかけてが、個体数が少ない月であった。

奄美大島で人囮法によりブユ成虫採集を行うと、採集されるのは主にアシマダラブユである。今回幼虫採集を行った近くでの成虫採集もアシマダラブユのみが採集されている(大塚 2016)。地元の人聞き取りでは春(5月ごろ)に

ブユによく刺されるということであり、今回のアシマダラブユの終齢幼虫発生のピークと一致していた。これまでに奄美大島では、この今回採集した3種の他には、ヒロシマツノマユブユ (*S. aureohirtum*)、ミエツノマユブユ (*S. mie*)、キアシツメトゲブユ (*S. bidentatum*) が知られている(TAKAOKA and TAKAHASI 1977)。キアシツメトゲブユは人吸血性があり、本土で人獣共通感染症であるイノシシの保有するフィラリアの一種 *Onchocerca dewittei japonica* を媒介している(FUKUDA *et al.* 2010)。奄美大島でブユ吸血被害のある山間部でキアシツメトゲブユの成虫が採集されることはなく、今回の調査でも幼虫が採集されなかった。

ブユ対策としては、環境負荷がある薬剤散布は難しいことから、個々人での対策となる。一般的な対策ではあるが、特に春から夏にかけては、山間部は入るときは肌の露出を減らし、露出部には忌避剤を使用することが重要となる。また、今回の調査が示すように、春から夏以外の季節でもアシマダラブユは発生しているのので、これまでブユ刺症で強い腫れを経験している人は、春夏と同様の対策が望ましい。



図1 採集地



図2 採集されたブユ終齢幼虫

表1 ブユ終齢幼虫の採集数と水温

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	total
<i>Simulium suzukii</i>	148	333	26	85	86	83	42	24	15	1	73	191	1,107
<i>S. japonicum</i>	6	8	7	14	47	14	17	2	0	1	5	8	129
<i>S. okinawense</i>	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
water temperature (°C)	13	12	12	16.5	17	19	21	21	21	20	17	15	

引用文献

- FUKUDA, M., OTSUKA, Y., UNI, S., BAIN, O. and TAKAOKA, H. 2010. Molecular Identification of Infective Larvae of Three Species of *Onchocerca* Found in Wild-caught Females of *Simulium bidentatum* in Japan. *Parasite*, 17: 39-45.
- 大塚 靖 2016. 奄美大島での人囮法によるブユ採集. 南太平洋海域調査研究報告, 57: 25-26.
- TAKAOKA, H. and TAKAHASI, H. 1977. Blackflies (Simuliidae). In: *Animals of Medical Importance in the Nansei Island Japan* (Eds. Sasa, M., Takahasi, H., Kano, R. and Tanaka, H.), 177-186, Shinjuku Shobo, Tokyo, Japan.
- UNI, S., FUKUDA, M., OGAWA, K., LIM, Y. A. L., AGATSUMA, T., BUNCHOM, N., SAIJUNTHA, W., OTSUKA, Y., BHASSU, S., UDIN, A. S. M., ZAINURI, N. A., OMAR, H., NAKATANI, J., MATSUBAYASHI, M., MARUYAMA, H., RAMLI, R., AZIRUN, M. S. and TAKAOKA, H. 2017. Zoonotic Infection with *Onchocerca dewittei japonica* in an 11-year-old Boy in Kansai Region, Western Honshu, Japan. *Parasitology International*, 66: 593-595.